

ジェットスター、シンガポール直行便を就航予定

- ジェットスター初のシンガポール直行便
- 大阪(関西)=シンガポール路線は、2012年11月1日就航予定¹
- シンガポール経由にて豪ノーザン・テリトリーにもアクセス可能

ジェットスターグループは、本日、2012年7月17日より大阪(関西)=シンガポール路線の航空券を発売することをお知らせいたします。本路線は大阪(関西)ではジェットスター国内線と、シンガポールではシンガポール=ダーウィン路線と接続する予定です。

ジェットスターグループは2012年11月1日より、大阪(関西)=シンガポール=ダーウィン路線を週3便で運航予定です。新路線のエコノミークラスは10,000円～、ビジネスクラスは60,000円～となっておりますが、本日より2日間限定のシンガポール直行便就航記念セールでは、エコノミークラスは5,000円、ビジネスクラスは30,000円となります。なお、大阪(関西)=シンガポール路線はエコノミークラスとビジネスクラスを有するA330にて運航され、シンガポール=ダーウィン路線はエコノミークラスのためのA321にて運航されます。

ジェットスターグループ日本支社長の片岡優は、以下のように述べています。

「大阪(関西)=シンガポール=ダーウィン路線は、7月3日の国内線就航により存在感を増しているジェットスターグループのネットワークをうまく活かすことが出来ます。ジェットスターグループはお客様へご提供できる選択肢を増やすことに注力しており、既存ネットワーク上の点と点を結ぶ機会を常に探しています。ダーウィンは大阪だけではなく、ジェットスター国内線により東京、福岡、沖縄、札幌とも結ばれることとなりますので、シンガポール=大阪(関西)路線はオーストラリアとシンガポールからのインバウンド旅行者にとり、日本を満喫するのにとても利便性の高い選択肢となります。また、お手頃な国内線運賃もあり、この路線拡充がシンガポールやダーウィンへのアウトバウンド旅行者の増加につながることも期待しています。」

日本へのインバウンド旅行者数は増加傾向にあり、2012年1月～5月では、シンガポールからは45%増加し、オーストラリアからは15%増加しました。

¹ 関係当局の認可を前提

本路線就航により、ジェットスターグループは大阪(関西)より最大週 31 便の国際線を運航することになります。これには、ジェットスター航空が運航しているケアンズおよびゴールドコースへの長距離便、ジェットスター・アジア航空が運航している台北またはマニラ経由のシンガポールへの便も含まれます。また、ジェットスター航空は大阪(関西)行きに接続可能なエアバス A330 によるメルボルン=シンガポール路線も運航しています。

ジェットスター航空 / ダーウィン - シンガポール - 大阪 (2012 年 11 月 1 日就航)

ダーウィン - シンガポール

JQ 64 18.20 - 21.20 木、金、日
(2012 年 12 月 17 日以降月曜日も就航)

シンガポール - 大阪

JQ 64 22.30 - 06.00 木、金、日
(2012 年 12 月 17 日以降月曜日も就航)

大阪 - シンガポール

JQ 63 10.30 - 16.20 月、金、土
(2012 年 12 月 17 日以降火曜日も就航)

シンガポール - ダーウィン

JQ 63 22.20 - 04.30 月、金、土
(2012 年 12 月 17 日以降月曜日も就航)

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会へ配布しております。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長している LCC(格安航空会社)です。ジェットスターグループは日本、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドに航空会社を有し、2013 年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の約 60 都市に週 3,000 便を運航しています。2012 年会計年度には、ジェットスターグループ全体で 2,000 万人のお客様にご利用いただけると予想しています。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に運航を開始した LCC(格安航空会社)であり、2013 年中には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。国内線就航時には、A320 型新造機 3 機(180 席)で運航を開始し、その後 3 年間で運航機材を 24 機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。